



2020年4月14日

各 位

会社名 株式会社東京衡機
代表者名 代表取締役社長 竹中 洋
(コード番号 7719 東証第2部)
問合せ先 取締役管理本部長 石見 紀生
(TEL. 03-5207-6760)

通期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2019年4月19日に公表いたしました2020年2月期通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年2月期通期連結業績予想と実績値の差異 (2019年3月1日～2020年2月29日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	6,000	250	230	170	円 銭 23 84
実績値 (B)	7,439	418	375	303	円 銭 42 61
増減額 (B-A)	1,439	168	145	133	—
増減率 (%)	24.0	67.4	63.3	78.7	—
(ご参考) 前期実績 (2019年2月期)	5,379	287	282	542	円 銭 76 08

2. 差異の理由

2020年2月期連結会計年度の業績のうち売上高につきましては、試験機事業では好調な受注環境を背景に前年を上回る売上を確保することができたこと、商事事業では当連結会計年度から開始した海外向けの商品の販売が予想を大幅に上回るすることができたこと、エンジニアリング事業では社会インフラ向けの製品を中心に前年度を上回る売上を達成できたことなどにより、海外事業で中国子会社の売上が伸び悩んだものの、グループ全体では前回予想を上回る結果となりました。

営業利益につきましては、エンジニアリング事業の売上高増加に伴う粗利の増加や海外事業における原価改善等により、グループ全体で予想を上回る結果となりました。また、経常利益につきましても、試験機事業におけるコストの低減や海外事業における人員配置の適正化等による人件費削減、各種経費の削減などにより、予想を上回ることができました。

その結果、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、前回予想を上回る結果となりました。

以 上